

令和5年度 シラバス

1年

教科	国語	科目	現代の国語	講座	1年生	種別	必修
単位数	2	教科書	高等学校 精選 現代の国語				
副教材	新訂国語図説						
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、実生活に生かしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的思考力や他者との関わりの中で伝え合う力を伸ばし、その力を用いて、要約やディスカッションを行うことができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうと考え、実際に行動に移すことができ、学習活動の中から、もの見方や感じ方、考え方を深め、実生活に生かすことができる。
できる	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、他者に説明することができる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的思考力や他者との関わりの中で伝え合う力を伸ばし、文章を読んだり、他者と会話したりすることができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうと考え、もの見方や感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つようとしている。
わかる	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的思考力や他者との関わりの中で伝え合う力の必要性を理解することができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうと考え、もの見方や感じ方、考え方を深めようとし、読書に親しむ姿勢を持つようしたりしている。
弓削高校の7つの力	思考力・表現力・進路実現力	思考力・表現力	課題解決力・創造力
評価方法	授業時の観察、小テスト、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、発問評価、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、リフレクションシート、定期考査、課題への取り組み方

学習計画
<p>【1学期】</p> <p>「生きもの」として生きる(中村桂子)</p> <p>水の東西(山崎正和)</p> <p>話し方の工夫・待遇表現・書き方の基礎レッスン</p>
<p>【2学期】</p> <p>生と死が創るもの(柳澤桂子)</p> <p>日本の労働問題に関わる資料を読み比べる</p> <p>不均等な時間(内山節)</p> <p>論理的な表現・スピーチで自分を伝える</p> <p>身近な製品の取扱説明書を作成する</p>
<p>【3学期】</p> <p>グローバリズムの「遠近感」(上田紀行)</p> <p>理想の修学旅行をプレゼンする</p> <p>実用的な手紙文の書き方</p>

評価について
<p>定期考査だけではなく、単元ごとの小テストや授業の取り組みなども評価の対象にします。また、定期考査では知識を問う問題だけではなく、思考力や表現力を測る設問も出題し、上記の3分野の能力を測ることを目的とします。</p>
<p>学習のアドバイス</p>
<p>① 国語が得意・不得意に関係なく、少しでも自分の言語感覚を磨くことを意識して取り組んでみてください。</p> <p>② 筆者の主張を読み解くために、文章の論理構成を意識して文章を読むようにしてください。</p>

教科	国語	科目	言語文化	講座	1年	種別	必修
単位数	3	教科書	高等学校 精選 言語文化				
副教材	新訂国語図説、体系古典文法						
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、文章中の表現を理解することができる。	自分の体験や思いを他者に文章だけでなく、短歌や俳句など様々な手段を用いて伝えることができる。また、現代文学及び古典文学に触れ、他者自身のものの見方や感じ方を比較し、表現することができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしたりしながら、言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者に対して働きかけを行うことができる。
できる	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	自分の体験や思いを他者に文章として伝えることができる。また、現代文学及び古典文学に触れ、他者のものの見方や感じ方を説明することができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしたりしながら、言語文化の担い手としての自覚を持っている。
わかる	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能がどのようなものか理解している。	自分の体験や思いを伝えるための手段を理解し、適切な文章を書くことができる。また、現代文学及び古典文学に触れ、他者のものの見方や感じ方を理解している。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしたりしている。
弓削高校の7つの力	思考力・表現力	思考力・表現力・創造力	課題解決力・つながる力
評価方法	授業時の観察、小テスト、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、発問評価、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、リフレクションシート、定期考査、課題への取り組み方

学習計画
【1学期】 児のそら寝(宇治拾遺物語)[古文] 訓読に親しむ(一)・(二)・(三)[漢文] 羅生門(芥川龍之介)[小説] 芥川・筒井筒(伊勢物語)[古文] 狐借虎威(戦国策)[漢文]
【2学期】 I was born(吉野弘)[詩] 九月ばかり・中納言参りたまひて(枕草子)[古文] 臥薪嘗胆(十八史略)[漢文] その子二十・こころの帆[短歌・俳句] 門出・帰京(土佐日記)[古文] 唐詩の世界[漢文]
【3学期】 祇園精舎・木曾の最期(平家物語)[古文] 桃花源記[漢文] 城の崎にて(志賀直哉)[小説]

評価について
定期考査だけではなく、単元ごとの小テストや授業への取り組みなども評価の対象とします。また、定期考査では知識を問う問題だけではなく、思考力や表現力を測る設問も出題し、上記の3分野の能力を測ることを目的とします。
学習のアドバイス
① 国語が得意・不得意に関係なく、現代文学及び古典文学に触れ、他者のものの見方や考え方から自身の生活を見直してみてください。 ② 小説・古文・漢文を黙読するだけではなく、音読を通して言葉の持つリズムを感じたり、古典独特の表現方法を感じたりしてください。

教科	地理歴史	科目	歴史総合	講座	1年	種別	必修
単位数	2	教科書	高等学校 新歴史総合（第一学習社）				
副教材	問いから始まる歴史総合（東京法令出版）						
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解するとともに、諸資料を収集して、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象について多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さへの自覚などを身に付けている。
できる	近現代の歴史を理解し、必要な諸資料から歴史に関する様々な情報を収集することができる。	歴史に見られる現代的な諸課題の解決に向けて、様々な資料から読み取った情報の意味や特色などを考察し、説明することができる。	よりよい社会とは何かについて考察し、諸資料を活用して、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。
わかる	現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。	歴史に見られる現代的な諸課題の解決に向けて考察し、表現している。	課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況（パフォーマンス評価）

学習計画
【1学期】 第1章 近代化と私たち 第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 工業化の進展と国民国家の建設 第3節 結びつく世界と日本の開国 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容
【2学期】 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会 第2節 経済危機と第二次世界大戦 第3節 第二次世界大戦後の世界と日本
【3学期】 第3章 グローバル化と私たち 第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 第2節 世界秩序の変容と日本

評価について
定期考査や、単元テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 現代社会の諸課題について、興味を持って考えてみましょう。分からないことは、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。 3 テレビや新聞、インターネットを活用し、現実社会で起こっているできごとをしっかりと把握しましょう。

教科	数学	科目	数学 I	講座	1 年 A 講座	種別	必修
単位数	4	教科書	新編 数学 I (数研出版)				
副教材	教科書傍用 3 T R I A L 数学 I + A (数研出版)						
科目の 目標	数と式、2 次関数、図形と計量、データの分析について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解し、それらを活用して事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりできる。	式やグラフ、図形を目的に応じて多面的に考察し、事象を適切に表現しその特徴を表、グラフ、式など適切な手法と相互に関連付けて論理的に考察し判断できる。	数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしている。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
できる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解し、活用することができる。	式やグラフ、図形を目的に応じて多面的に考察し、判断することができる。	授業に積極的に参加し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
わかる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解している。	式やグラフ、図形をもとに考察することができる。	授業に積極的に参加している。
弓削高校の 7 つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況 (パフォーマンス評価)

学習計画
【1 学期】 第 1 章 数と式 第 2 章 集合と命題 第 3 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ
【2 学期】 第 2 節 2 次関数の値の変化 第 3 節 2 次方程式と 2 次不等式 第 4 章 図形と計量 第 1 節 三角比
【3 学期】 第 2 節 三角形への応用 第 5 章 データの分析

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 数学の得意・不得意は問題ではありません。難しい問題にも、果敢にチャレンジしましょう。分からない問題は、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。

教科	数学	科目	数学 I	講座	1年B講座	種別	必修
単位数	4	教科書	新編 数学 I (数研出版)				
副教材	教科書傍用 3 T R I A L 数学 I + A (数研出版)						
科目の目標	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解し、それらを活用して事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりできる。	式やグラフ、図形を目的に応じて多面的に考察し、事象を適切に表現しその特徴を表、グラフ、式など適切な手法と相互に関連付けて論理的に考察し判断できる。	数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしている。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
できる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解し、活用することができる。	式やグラフ、図形を目的に応じて多面的に考察し、判断することができる。	授業に積極的に参加し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
わかる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解している。	式やグラフ、図形をもとに考察することができる。	授業に積極的に参加している。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況 (パフォーマンス評価)

学習計画
【1学期】 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ
【2学期】 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式 第4章 図形と計量 第1節 三角比
【3学期】 第2節 三角形への応用 第5章 データの分析

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 数学の得意・不得意は問題ではありません。難しい問題にも、果敢にチャレンジしましょう。分からない問題は、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。

教科	数学	科目	数学A	講座	1年A講座	種別	必修
単位数	2	教科書	新編 数学A (数研出版)				
副教材	教科書傍用 3 T R I A L 数学I + A (数研出版)						
科目の目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりできる。	図形の構成要素間の関係などに着目し、性質を見だし論理的に考察したり、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。
できる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解し、活用することができる。	図形における性質を理解し、論理的に考察したり、確率の性質に基づいて事象を考察したりできる。	授業に積極的に参加し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
わかる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解している。	図形の性質や確率の基本的考え方を活用して考察できる。	授業に積極的に参加している。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況 (パフォーマンス評価)

学習計画
【1学期】 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率
【2学期】 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形
【3学期】 第3章 数学と人間の活動

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 数学の得意・不得意は問題ではありません。難しい問題にも、果敢にチャレンジしましょう。分からない問題は、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。

教科	数学	科目	数学A	講座	1年B講座	種別	必修
単位数	2	教科書	新編 数学A (数研出版)				
副教材	教科書傍用 3 T R I A L 数学I + A (数研出版)						
科目の目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりできる。	図形の構成要素間の関係などに着目し、性質を見だし論理的に考察したり、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。
できる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解し、活用することができる。	図形における性質を理解し、論理的に考察したり、確率の性質に基づいて事象を考察したりできる。	授業に積極的に参加し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
わかる	基本的な概念や原理・法則について体系的に理解している。	図形の性質や確率の基本的考え方を活用して考察できる。	授業に積極的に参加している。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況 (パフォーマンス評価)

学習計画
【1学期】 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数
【2学期】 第2節 確率 第2章 図形の性質 第1節 平面図形
【3学期】 第2節 空間図形

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 数学の得意・不得意は問題ではありません。難しい問題にも、果敢にチャレンジしましょう。分からない問題は、質問するなどして、宿題や提出物を必ず出しましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。

教科	理科	科目	化学基礎	講座	1年	種別	必修
単位数	2	教科書	高等学校 化学基礎 (数研出版)				
副教材	セミナー化学基礎+化学 (第一学習社)						
科目の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	<ul style="list-style-type: none"> 化学に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を日常生活や社会に関連させることができる。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学に関する事物・現象について、観察、実験などを通して探究し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
できる	<ul style="list-style-type: none"> 化学に関する事物・現象について、基本的な概念や、原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学に関する事物・現象について、観察、実験などを通して探究し、自分なりの考えを導き出している。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとしている。
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 化学に関する事物、現象について、基本的な概念や原理・法則を理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学に関する事物・現象について、観察、実験などを通して探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学的な事物・現象に関心や探究心を持つようとしている。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力、進路実現力	思考力、表現力、創造力、課題解決力、進路実現力	課題解決力、進路実現力、つながる力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、小テスト、定期考査、課題への取り組み方

学習計画
【1学期】 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子
【2学期】 第3章 粒子の結合 第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第2章 酸と塩基の反応
【3学期】 第3章 酸化還元反応

評価について
定期考査や、単元テスト、小テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、テストの内容は、知識・理解を問う基礎的な問題だけでなく、思考力・判断力を問うため、発展的な問いも出題します。
学習のアドバイス
1 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。 2 予習や復習をしたり、授業を受けたりする中で生じた疑問点については、積極的に質問しましょう。

教科	保健体育	科目	体育	講座	1年	種別	必修
単位数	3	教科書	現代高等保健体育				
副教材	現代高等保健体育ノート						
科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力の育成を目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、運動の多様性や体力の必要性の理解を基に技能を身に付けることができ、運動の計画を立てることができる。	運動などについての自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考・判断し、学習したことを基に解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高め、健康・安全を確保し、運動に主体的に取り組むことができ、継続して運動に親しむことができる。
できる	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、運動の多様性や体力の必要性の理解を基に技能を身に付けることができる。	運動などについての自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考・判断し、学習したことを基に解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間と考えることができる。	公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高め、健康・安全を確保し、運動に主体的に取り組むことができる。
わかる	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができ、運動の多様性や体力の必要性を理解できる。	運動などについての自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を、合理的・計画的な解決に向けて思考・判断し、解決の仕方等について考えることができる。	公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高め、健康・安全を確保し、運動に積極的に取り組むことができる。
弓削高校の7つの力	思考力、課題解決力	思考力、表現力、課題解決力	表現力、つながる力
評価方法	授業時の観察、実技テスト、リフレクションシート	授業時の観察、発問評価、リフレクションシート	授業時の観察、リフレクションシート、授業への取り組み方

学習計画
【1学期】 ・体づくり運動 ・球技（バレーボール） ・体育理論
【2学期】 ・ダンス ・球技（バスケットボール・サッカー） ・体育理論
【3学期】 ・陸上競技（長距離走） ・球技（バドミントン） ・体育理論

評価について
上記の観点を踏まえ、①出席状況 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。
学習のアドバイス
1 休まず授業に出席し、様々な競技を体験しましょう。 2 得意・不得意に関係なく、全力で取り組みましょう。 3 自分だけでなく、他者の安全にも十分注意して学習しましょう。

教科	保健体育	科目	保健	講座	1年	種別	必修
単位数	1	教科書	現代高等保健体育				
副教材	現代高等保健体育ノート						
科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力の育成を目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	現代社会と健康、安全な社会生活について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解し、実生活に生かすことができるとともに、それらの内容に関わる技能を身に付ける。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、より良い解決に向けて思考したり、判断したりするとともに、他者と協働し解決することができる。	現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的・協働的に取り組める。
できる	現代社会と健康、安全な社会生活について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解するとともに、それらの内容に関わる技能を身に付ける。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、より良い解決に向けて思考したり、判断したりするとともに、他者に表現することができる。	現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。
わかる	現代社会と健康、安全な社会生活について、個人だけでなく社会生活について理解できるとともに、それらの内容に関わる技能を身に付ける。	自他や社会の課題について、より良い解決に向けて思考したり、判断したりするとともに、他者に表現することができる。	現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に取り組もうとしている。
弓削高校の7つの力	思考力、課題解決力	思考力、表現力、課題解決力	つながる力
評価方法	授業時の観察、小テスト、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、発問評価、リフレクションシート、定期考査	授業時の観察、リフレクションシート、定期考査、課題への取り組み方

学習計画
【1学期】 ・1単元「現代社会と健康」（前半）
【2学期】 ・1単元「現代社会と健康」（後半）
【3学期】 ・2単元「安全な社会生活」

評価について
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③授業態度を総合的に判断して評価する。
学習のアドバイス
1 休まず授業に出席しましょう。欠席時の学習については学習内容を確認し、ノートを書き写しましょう。 2 板書やワークをしっかりと振り返り、試験に臨みましょう。 3 授業プリントは、ノートに貼って学期末に提出するので、日頃からノートの整理をしっかりと行いましょう。

教科	芸術	科目	音楽 I	講座	1 年	種別	必修
単位数	2	教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)				
副教材							
科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる脂質・能力を育成することを目指す						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などのかかわり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などのかかわり及び音楽の多様性について知っている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を理解し、歌唱、器楽、創作で活用しようとしている。 	<p>音楽を形づくっている要素の働きを感受し、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景及び音楽の多様性について知っている。 ・音楽表現をするために必要な基本的な技能を用いて、歌唱、器楽、創作で表現している。 	<p>自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>指示されたとおりに表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>
弓削高校の7つの力	思考力、表現力、課題解決力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、企画運営力、つながる力
評価方法	授業時の観察、小テスト、実技テスト	授業時の観察、小テスト、実技テスト	授業時の観察、実技テスト

学習計画
【1 学期】 歌唱 器楽・創作 (リズムアンサンブル) 鑑賞 (西洋音楽)
【2 学期】 器楽 (篠笛) 混声合唱 鑑賞・創作 (日本音楽)
【3 学期】 器楽 (ギター) 歌唱 鑑賞 (オペラ)

評価について
上記の観点を踏まえ、①筆記試験 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。
学習のアドバイス
1 休まず授業に出席し、提出物の期限を守ること。 2 演奏では自分なりの表現を大切に、楽器演奏、歌唱、実技試験に臨む。 3 筆記試験も実施する。プリントは、ファイルに綴じて学期末に提出するので、日頃からファイルの整理をしっかりと行う。

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	講座	1 年生	種別	必修
単位数	3	教科書	BIG DIPPER English Communication I (数研出版)				
副教材	改訂版フレーズで英単語 3000 (浜島書店)						
科目の目標	<p>日常的・社会的な話題について、読んだり聞いたりして必要な情報を理解し、話し手や書き手の意図を把握したり概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</p>						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能 (30点)	思考力・判断力・表現力等 (50点)	学びに向かう力・人間力等 (20点)
使える	要点や考え、気持ちをまとめたり伝えたりするために、日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	聞いたり読んだりした内容を基に、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりすることができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組み、様々なツールを用いて英語で表現する態度を身に付けている。また、表現したことに対して教師やクラスメートからのフィードバックを受けて、自ら修正することができる。
できる	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	聞いたり読んだりした内容を基に、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて理由や根拠とともに話したり書いたりすることができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組み、様々なツールを用いて英語で表現する態度を身に付けている。
わかる	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば概要を理解することができる。	聞いたり読んだりした内容を基に、多くの支援を活用すれば基本的な語句や文を用いて話したり書いたりすることができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組んでいる。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力、進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査、パフォーマンステスト	課題提出、授業や課題への取組、パフォーマンステスト

学習計画
<p>【1 学期】</p> <p>Lesson 1 Have a Good Day with a Good Breakfast</p> <p>Lesson 2 A Mascot with a Mission</p> <p>Lesson 3 Two Kinds of Leadership</p>
<p>【2 学期】</p> <p>Lesson 4 Older Sports and Newer Sports</p> <p>Lesson 5 AI Meets the Arts</p> <p>Lesson 6 What is Happiness?</p> <p>Lesson 7 The Maldives: A Dream Destination?</p>
<p>【3 学期】</p> <p>Lesson 8 Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream</p> <p>Lesson 9 From Recycle to Upcycle</p> <p>Lesson 10 Diversity at Japanese Companies</p>

評価について
<p>定期考査、単元テスト、小テスト、パフォーマンステスト、授業や課題への取組</p> <p>(定期考査 %、その他の評価 %)</p>
<p>学習のアドバイス</p>
<p>1 予習・復習、課題の提出をきちんと行い、自ら学習する習慣を身に付けましょう。</p> <p>2 英語は使えば使うだけ上達します。授業中のスピーキングやライティング活動、プレゼンテーションに積極的に参加しましょう。</p>

教科	英語	科目	論理・表現 I	講座	1 年生	種別	必修
単位数	2	教科書	Big Dipper English Logic and Expression I				
副教材	DUALSCOPE 総合英語 (数研出版)						
科目の 目標	<p>学習者の生活に即した題材を用いて、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの3つの領域の言語活動を通じ、英語による基礎的かつ実践的な発信技能を習得する。</p> <p>論理の構成や展開を工夫して、自主的・自立的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	英語でどのような表現を用いるのかを理解し、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。また、ポイントとなる用法のほかに様々な語彙や表現を習得している。	英語の構造を的確に理解し、自分で考えて、言いたい内容を表現することができる。また、身近な話題に関して。実際の状況を自らが考え、判断して正しい英文で表現することができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組み、様々なツールを用いて英語で表現する態度を身に付けている。また、英語の表現について正しく理解しようとしている。
できる	英語でどのような表現を用いるのかを理解し、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。	英語の構造を的確に理解し、自分で考えて、言いたい内容を表現することができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組み、様々なツールを用いて英語で表現する態度を身に付けている。
わかる	日本語と英語の基本的な違いについて正しく理解しようとしている。	英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答することができる。	授業や課題、テストに意欲的に取り組みんでいる。
弓削高校の 7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、創造力	課題解決力。進路実現力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、小テスト、定期考査	課題提出、授業や課題への取組、パフォーマンステスト

学習計画
【1 学期】 Part 1 Building a Basis for Logical Expression Lesson 1～14
【2 学期】 Part 1 Building a Basis for Logical Expression Lesson 15～21 Part 2 Communicative Functions for Logical Expression Lesson 1～6
【3 学期】 Part 2 Communicative Functions for Logical Expression Lesson 7～15

評価について
定期考査、単元テスト、小テスト、パフォーマンステスト、授業や課題への取組
学習のアドバイス 予習・復習。課題の提出をきちんと行い、自ら学習する習慣を身に付けましょう。

教科	家庭	科目	家庭基礎	講座	1年	種別	必修
単位数	2	教科書	図説家庭基礎（実教出版）				
副教材	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会） 調理実習ノート 基礎編（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）						
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中にとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。 ・生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。 						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解し、それらを実生活で実践できる。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決できる。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
できる	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解し、活用することができる。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善できる。	よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとしている。
わかる	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解している。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想することができる。	授業に積極的に参加し、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
弓削高校の7つの力	思考力、表現力	思考力、表現力、想像力	課題解決力、つながる力
評価方法	授業時の観察、実習や課題の成果物、定期考査	授業時の観察、実習や課題の成果物、定期考査	課題提出、授業・実習への取組や課題への主体的取組状況

学習計画	
【1学期】	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族・家庭及び福祉 ・衣生活 ・環境 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動
【2学期】	<ul style="list-style-type: none"> ・保育 ・高齢者 ・共生社会 ・消費生活
【3学期】	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活 ・住生活

評価について
<p>定期考査や実習での成果物の点数だけでなく、授業中や実習中の態度、課題への取組等も評価の対象です。</p> <p>夏休み課題である「ホームプロジェクト」では、思考力・判断力・表現力等及び学びに向かう力・人間力等を総合的に評価します。</p>
学習のアドバイス
<ol style="list-style-type: none"> 1 社会の基盤は私たちの生活です。家庭科は、生活の仕方について学ぶ教科です。これからの人生を自分らしく充実したものにするよう意欲的に授業を受けましょう。 2 「ホームプロジェクト」は、自分や家族の生活の中から課題を見つけ、家庭科で学んだ知識や技術を生かしながら課題解決を目指しましょう。 3 家庭科を学んで特に興味をもった分野があるならば、その分野を深めて、将来の職業につなげていきましょう。

教科	情報	科目	情報 I	講座	1 年	種別	必修
単位数	2	教科書	情報 I (日本文教出版)				
副教材	情報 I サブノート (日本文教出版)						
科目の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						

目指すべき能力と次元			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間力等
使える	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
できる	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けている。	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切に用いている。	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を活用し、自ら改善しようとしている。
わかる	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解している。	情報と情報技術を適切に用いている。	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を活用しようとしている。
弓削高校の7つの力	思考力、進路実現力、課題解決力、企画・運営力	思考力、表現力、進路実現力、課題解決力	進路実現力、創造力、つながる力
評価方法	授業時の観察、単元テスト、スキルテスト、定期考査	授業時の観察、単元テスト、プレゼンテーションスキル、定期考査	課題提出、授業への取組や課題への主体的取組状況 (パフォーマンス評価)

学習計画
【1 学期】 第 1 章 情報社会の問題解決 第 2 章 コミュニケーションと情報デザイン
【2 学期】 第 3 章 コンピュータとプログラミング
【3 学期】 第 4 章 情報通信ネットワークとデータの活用

評価について
定期考査や、単元テストなど、ペーパーテストの点数だけでなく、授業中の態度や課題への取組等も評価の対象です。また、情報技術を用いて課題を解決しようとする態度や、制作物についても評価します。
学習のアドバイス
1 一人一台端末を用いることが多くなります。データの整理を定期的に行いましょう。 2 授業をよく聞き、大切なことはメモをとりましょう。板書をとることに夢中になるのではなく、ポイントを押さえることを意識して授業に臨みましょう。 3 情報技術を用いて課題を解決する視点を持ちましょう。